



**凡例 Legend**

1. 昭和19(1944)年東南海地震における建物被害

①全壊率(全壊数) ※全壊率=全壊数/全戸数  
②半壊率(半壊数) ※半壊率=半壊数/全戸数  
③全戸数

	①全壊率	②半壊率
	80-100%	
	60-80%	
	40-60%	
	20-40%	
	0-20%	
	不明	

【資料】  
飯田政事, 1977, 昭和19年12月7日 東南海地震の震害と震度分布, 愛知県防災会議, 120p.

【注】  
本図には、災害発生当時の市町村名を表示している。図中で、市町村名のみを記載した市町村は、資料中に被害報告の記載はないものの、実際には被害が生じていた可能性がある。なお、本図に表示した市区町村界は、災害発生時期に近い年代の状況を既存資料により参考表示したものであり、災害発生当時の市区町村とは一致しない場合がある。

2. 昭和19(1944)年東南海地震における液状化地点

- 町村名や大字など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点
- ▲ 集落名や町丁目など、地区名で特定される地点
- ⊗ 番地や集落内の小字名など、地点に近い情報で特定される地点
- 正確な範囲が特定されている地点
- 正確な位置が特定されている地点

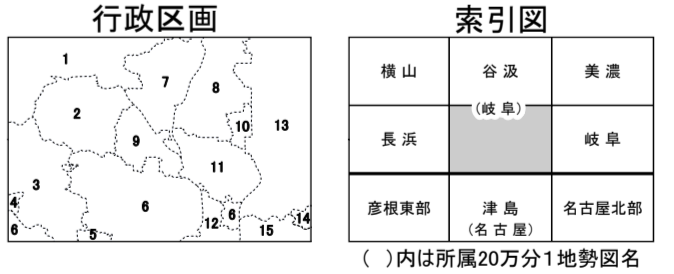
【資料】  
若松加寿江, 2011, 日本の液状化履歴マップ745-2008, 東京大学出版会.

(その他)

— · — · — · — 都 府 県 界  
- - - - - 昭和25年(1950)年の市町村界

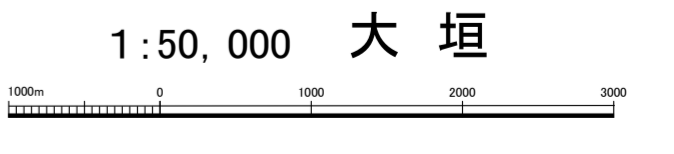
**摘要**

1. 経緯度の基準は世界測地系
2. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°
3. 作業機関 株式会社地域開発コンサルタント
4. 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成7年修正
5. 対応する二次メッシュコード 533604, 533605, 533614, 533615



**岐阜県**

1. 揖斐川町
2. 池田町
3. 垂井町
4. 関ヶ原町
5. 養老町
6. 大垣市
7. 大野町
8. 本巣市
9. 神戸町
10. 北方町
11. 瑞穂市
12. 安八町
13. 岐阜市
14. 笠松町
15. 羽島市



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平23情使、第492号)」